(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回『びほろ』みらいまちづくり会議
開 催 日 時	平成26年11月26日(水) 18時30分 開会 20時15分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 集団健診ホール
出 席 者 氏 名	別紙のとおり
欠 席 者 氏 名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 美幌町財政運営計画について 3 基本目標について 4 次回会議について 5 閉 会
会議の公開又は 非公開の別	公 開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ ・まちの財政 ・第3回『びほろ』みらいまちづくり会議「まちの将来像」について 【全部会の内容をまとめたもの】 ・(上記に係る)各部会の協議結果
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☐ 録音テープを使用した要点記録
	☒ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
菅野会長	<p>＜レジユメの次第に沿って進行＞</p> <p>1 開 会</p> <p>時間になりましたので、これより、第4回『びほろ』みらいまちづくり会議を始めます。本日の会議内容につきましては、お手元に配付しております次第にありますとおり、美幌町財政運営計画についての説明、基本目標について、次回会議についての事務連絡、以上であります。</p> <p>開会に際しまして、本日の会議終了時刻を決めたいと思います。本日の会議終了時刻は午後8時までにしたいと思いますが、ご異議ありませんでしょうか。</p> <p>（「異議無し」の声あり）</p>
菅野会長	<p>無いようですので、これから会議を始めます。</p> <p>なお、今回から美幌町総合計画策定本部員がオブザーバーとして各部会に参加します。本部会議名簿がレジユメの2ページに掲載されておりますのでご確認ください。</p>
菅野会長	<p>2 将来人口推計について</p> <p>次第の2番、美幌町財政運営計画について、事務局より報告願います。</p>
那須総合計画主幹	<p>時節柄お忙しい折、ご出席ありがとうございます。</p> <p>本日は、基本目標について議論する前に「まちの財政」について財務主幹より説明させて頂きます。美幌町では、中長期的な視点に立ち、財政の健全化に向けた取り組みを一層強化し、安定的で弾力的な行財政運営体制の確立を目指すため、「美幌町財政運営計画」を平成17年度から策定しており、現在は平成25年度を初年度とした第2次美幌町財政運営計画が進行中でございます。本日は、皆様に美幌町の財政状況や計画についてなどをご説明させていただき、今後の議論の参考にしていただければと存じます。</p> <p>説明は、小室財務主幹が行います。</p>
小室財務主幹	<p>＜資料に基づき説明＞</p> <p>紹介のありました、財務グループ小室でございます。</p> <p>本日は、まちの財政について、お話をさせていただく訳ですが、持ち時間の15分は必ず守るようにと指示を受けておりますので、ポイントを絞ってお話させていただきます。</p> <p>未来まちづくり会議の皆様におかれましては、夢と希望をもって、総合計画の策定作業にあたられていると思います。財政の話は暗くなりがちです。夢と希望を失うことがないように、十分に注意してお話しを進めてまいりたいと思います。</p> <p>はじめに、今年の町の予算について、円グラフは一般会計の歳入を表</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>(引き続き) 小室財務主幹</p>	<p>しています。当初予算は総額で95億円であります。国から交付される地方交付税が38億4千万円と、全体の4割を占め、国や道からの支出金（補助金）や地方譲与税などを加えた、いわゆる依存財源が全体の64%にあたります。大学生の生活に例えますと、親からの仕送りが64%、アルバイト収入が36%ということになるかと思えます。親からの仕送りはいつ減るかわかりませんので、勉強はとても大切ですが、自らの手で収入を増やす努力、町で言うと地域の活性化に取り組むための努力が必要です。</p> <p>次に一般会計の歳出の内訳です。金額の多い順に、民生費、職員給与費、公債費（借金の返済額）となっています。10年ほど前までは、土木費や農林水産業費など、インフラ整備・公共施設事業に関する経費が大きなウエートを占めていましたが、近年は子育て支援や高齢者福祉などの民生費や、健康づくりやごみ処理などの衛生費、これら生活に深い関わりのある経費が増えておりまして全体の33%を占めています。</p> <p>次の円グラフは、まちの全ての会計を合わせた予算額を表しています。まちには、先ほど説明した一般会計以外にも、国民健康保険や介護保険など、特定の収入で特定の事業を行う5つの特別会計と、会社と同様に、事業活動を通じて収益を得る2つの企業会計があります。住民サービスを提供するため、まちには8つの財布があるということになります。それぞれの財布でやりくりすることが基本ですが、安定的な住民サービスを提供するため、一定のルールの下、親の財布である一般会計から負担している部分もあります。ここ数年の傾向として、高齢化が進んでいるために介護保険特別会計が、また、国保病院の医療機器更新により、病院事業会計の予算規模が増加しています。参考までに、全体の予算規模を人口で割り返しますと、一人あたりの予算額は88万円となります。</p> <p>ここまで、ことしの予算の概要についてご説明しましたが、住民サービスの水準を確保し、将来にわたって安定的な行政運営を進めていくには、財政基盤をしっかりと整えることが重要です。このため、平成24年11月には、今後10年間（25年度から34年度）の財政運営の指針として、第2次美幌町財政運営計画を策定しております。策定の目的は、こちらに記載のとおりですので、後ほどご覧いただければと思います。</p> <p>まちでは、平成16年度に第1次財政運営計画を策定しております。夕張市の財政破たんが社会問題になったことは、皆様の記憶にも残っていると思いますが、国は、地方自治体の財政状況をチェックし、指導や助言を行えるよう、4つの財政指標からなる財政健全化法という法律を制定しています。その財政指標の一つが実質公債費比率です。年間の収入に対して、借金の返済額が占める割合を示した数値で、一般会計以外の返済費用も含まれます。この数値が25%を超えるとイエローカードに、35%になるとレッドカード（財政破たん）となってしまいます。平成17年度は23.3%とイエローカードの一步手前でしたが、皆様のご理解とご協力をいただきながら、財政の健全化に取り組んできた結果、平成24年度には12.0%と大きく改善しています。地方債現在高は、一般会計における借金の残高を表します。ピーク時は平成16年度で、160億円を超える借金がありましたが、現在は102億9千万円まで減少しています。積立金現在高は、町の基金（貯金）の残高を表</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>(引き続き) 小室財務主幹</p>	<p>します。27億円ということで、町民一人あたりの貯金は13万円となります。以上のとおり、第1次財政運営計画においては、全ての項目で目標値を達成しております。</p> <p>第2次財政運営計画では、今後の財政見通しを立てるため、歳入と歳出それぞれに、一定の考え方で今後の収支を試算していますが、平成25年度から平成34年度までの10年間で、21億2千万円の収支不足が発生すると結果が出ました。この結果は、何も努力しない場合の状況であり、まちの財政が急激に悪化することを意味するものではありません。家計のやりくりと同様に、収入と支出のバランスをとりながら、必要な行政サービスを維持・提供していけるように、まちの現状をしっかりと受け止めるために試算したものです。この結果を踏まえ、安定的な財政基盤を確立していくため、まちでは平成34年度の目標値を設定しております。</p> <p>その取り組みの方向性として、3つの柱を設けています。1点目は、透明性の向上です。まちの財政情報をわかりやすく発信するほか、行政評価を本格的に実施し、その内容を公表することで、まちの取り組み、事業が正しい方向にあるのか、住民ニーズに沿っているのか、確認をしながら進んでいくことにしています。2点目は、自主・自立性の推進です。収支バランスのとれた財政運営を進めるには、歳入に見合った歳出の予算規模を維持することが大切です。住民ニーズが多様化する中で、民間の皆様やボランティアの方々の力を取り入れるなど、常に事業の進め方を見直してまいります。3点目は、将来負担の適正化です。次の世代に無理なご負担をお願いすることのないよう、事業の実施にあたっては、選択と集中化を図るなど、適正な財政運営に努めてまいります。歳入の具体的方策として、5つの項目を掲げています。時間がありませんので、後ほど、ご覧いただければと思います。</p> <p>歳出の具体的方策としては、6つの項目を掲げています。後ほど、ご覧いただきたいと思います。</p> <p>今後の財政運営を進める上で注意すべき事項として、ここでは4つの項目を挙げています。自主的・自立的な行政運営の推進として、自治基本条例に基づき、地域の特性や住民ニーズに即した施策・事業を進めようとするものです。行財政運営システムとの連携強化として、行政評価を取り入れた予算の編成と執行を行い、総合計画実施計画に基づいたまちづくりを進めてまいります。多様な主体との協働の推進として、民間の皆様やボランティアの方々とのパートナーシップのもと、行政サービスの充実に取り組んでまいります。職員の意識改革として、最少の経費で最大の効果を発揮できるように、職員一人ひとりが常にコスト意識をもって、行政課題の解決に努力していきます。</p> <p>平成25年度の決算の状況ですが、全ての項目で計画を上回っていることから、まちの財政状況については、概ね健全な状態にあります。しかしながら、一度、気を緩めると、財政状況はすぐに悪化する恐れもありますので、引き続き、健全な財政運営を心がけていく必要があると考えております。</p> <p>少し時間が残っていますので、過疎地域の指定についても触れておきたいと思います。皆様、ご承知のとおり、本年4月、人口減少と財政力の2つの要件を満たし、美幌町は過疎地域へと指定されました。昭和60年は私が役場に就職した年ですが、当時の人口は約26700人、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>(引き続き) 小室財務主幹</p>	<p>現在は約20800人ですので、この30年で6000人が減少し、過疎地域に指定されたこととなります。決して喜ばしいことではありませんが、今後におきましては、過疎からの脱却・自立に向け、国の財政上の特別措置を活用したまちづくりを進めていくこととなります。代表的な特別措置として、過疎債の活用が挙げられます。自立に向けた市町村計画を作成し、その実現を図るため、必要な事業を行う際に借り入れる地方債（借金）について、国が元利償還金の70%を普通交付税で補てんする制度です。過疎債を有効に活用して、公共施設の整備を図ることが可能になりますが、借金であることに変わりはありません。これまで以上に、計画的で効率的な財政運営を心がけていく必要があると考えています。</p> <p>そこで、財政運営上の今後の課題を何点かあげてみました。歳入では、町税の伸び悩みがあります。人口の減少、とくに生産年齢人口が減少する今後においては、いかに町税収入を確保するかが課題です。地域経済の活性化を図ることで、固定資産税や町民税などの基幹となる税収の確保に努めていくことが必要です。地方交付税が縮減される方向にあることも大きな問題です。日本に人口減少社会が到来し、国全体の高齢化率が約26%に達した今、地方交付税が増えるような明るい要因を見出すことは難しい状況にあります。消費税率の10%への引き上げは、私たちの生活に大きな影響を与える問題です。その一方で、引き上げられる一部の財源は社会保障費に充てられることから、今後、町の財政事情にも影響があるものと思われます。歳出では、代表的な課題を5つあげています。高齢化が進むことで扶助費が増加しますので、給付型のサービスから、社会的な自立を支援するサービスへの転換が必要と思われます。子育て支援や、教育環境を充実するための経費も増えることが予想されます。子どもたちが、未来の美幌町を支えることとなりますので、若い世代の皆さんが子供をもうけて、育てやすい環境を整えることが必要となります。道路や公園、下水道、学校をはじめ、多くの公共施設が老朽化しており、更新の時期を迎えています。維持補修費の増加が課題となりますので、適切な維持管理と補修に努めるとともに、改修整備にあたっては、施設の一体化や複合化も検討することが必要です。過疎債の活用については、先ほど説明のとおりです。今年8月、広島市内で発生した豪雨による土砂災害では、多くの方々が犠牲になりました。5日前には、長野県で震度6弱の地震が発生するなど、いっどこで災害に見舞われるか誰にも予測はできません。万一来るためにも、防災や減災の対策を進めていくことが必要となります。</p> <p>以上のとおり、様々な課題はありますが、限られた予算の中で事業の選択と集中化を図ってまいります。各ご家庭では、日頃から節水や節電に取り組むことはもとより、無駄なモノは買わない、必要なモノでも安く購入するなど、少しでも生活水準を維持・向上できるように努力しています。住宅を建てる、自家用車をローンで購入する際には、購入後の支払い額と収支バランスをよく考えて決断していると思います。まちの財政も同じです。住民サービスの水準を維持できるように、将来を見通した中で、収支バランスを整えながら、真に必要な事業を進めていくことが大切です。引き続き、健全な財政運営に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。</p> <p>以上で、まちの財政についての説明を終わります。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
菅野会長	<p>ただ今、事務局より財政運営計画について説明がありましたが、質疑などありますでしょうか。</p> <p>無いようですので、次に進みます。</p> <p>3 基本目標について</p> <p>※「基本目標」について、各部会で、それぞれその担当分野における「重視すべき視点」「考え方」「キーワード」について、また、基本目標をイメージする漢字1字についての議論を行い、内容を発表しました。各部会での主な意見及びとりまとめた協議結果については別紙のとおりです。</p> <p>※7時55分に、会長が終了時刻の変更について諮りました。変更後の終了時刻は、各部会の発表後まで、となりました。</p> <p>4 次回会議について</p>
菅野会長	<p>次第の4番、次回会議について、事務局より報告願います。</p>
那須総合計画主幹	<p>本日は長時間お疲れ様でした。次回会議についてご連絡いたします。次回会議は、年内最後の会議となります。12月17日（水）午後6時30分から、場所は同じくこちら、集団健診ホールです。</p> <p>次回の会議では、これまで議論してまいりました「まちの課題」「将来像」「基本目標」についてまとめを行い、これをもって基本構想の骨子と致します。とりまとめた結果を参考に骨子案を次回会議でお示いたしますので、よろしく願います。</p> <p>また、年明けからは基本計画の議論に入ります。先日、タウンウォッチングという町内施設の見学会を実施したところですが、基本計画の議論に際し、見学してみたい施設などありましたら次回会議までそれぞれご検討いただきたいと思います。希望等をお聞きして、実施の有無を含め部会ごとのタウンウォッチングを検討して参りたいと思います。</p> <p>以上、よろしく願います。</p>
菅野会長	<p>ただ今、事務局より次回会議について報告がありましたが、質疑などありますでしょうか。</p>
菅野会長	<p>全体を通して質疑などありますでしょうか。</p>
菅野会長	<p>本日予定されておりました議題については全て終了しました。これで本日の会議を閉じます。</p>